

KIEX なび

※KIEXとは、公益財団法人 鹿児島市国際交流財団の英語表記Kagoshima International Exchange Foundationの略称です。

2021.4
Vol. 28



ハーティーパーティー



日本文化体験【茶道】

イベントレポート Event Report

- ① 国際協力講演会 & 青年海外協力隊員報告会
- ② 国際交流探訪バスツアー
- ③ 世界各国のアフリカ系文化紹介
- ④ Tea Ceremony Class/茶道教室
- ⑤ 親子でわくわくクリスマス
- ⑥ インターナショナルカレッジ②
- ⑦ 英語で学ぶ! Australia Day
- ⑧ 多様性を尊重したまちづくり
- ⑨ 災害時多言語支援ボランティア登録説明会
- ⑩ 災害時の外国人対応セミナー

コラム 世界の台所
登録団体紹介



追悼 中村哲医師 DVD上映 & 写真展



世界各国のアフリカ系文化紹介

Event Report イベントレポート



国際協力講演会 & 青年海外協力隊員報告会

開催日 12月6日(日) **場所** かがしま国際交流センター

国際協力や発展途上国に対する理解・認識を深めてもらうことを目的に「国際協力講演会 & 青年海外協力隊員報告会」を開催し、関係者を含め125名の皆さんにご参加いただきました。

第一部では、パシワール会 PMS支援室室長の藤田千代子氏に「アフガニスタンに命の水を～中村哲医師・PMSと共に～」をテーマにご講演いただきました。続いて、第二部の青年海外協力隊員報告会では、ブータンで障害児・者教育に携わった益田寛子氏と、ネパールで上水道に携わった南智大氏に活動報告を行っていただきました。

参加者の皆さんにとって、国際協力の分野で活躍されている方々のお話を通し、国際協力への理解を深め、自分たちにできることは何かを考えることのできるものとなりました。

また、上記イベントに合わせ、『追悼 中村哲医師DVD上映 & 写真展』を開催。約80点に及ぶ写真やDVD上映を通して中村哲医師の現地での活動内容を紹介し、中村医師の功績を知り、感動したというお声を多くいただきました。なお、DVDは土・日曜にセンター1階の交流ラウンジで上映しています。



国際交流探訪バスツアー

開催日 12月13日(日) **場所** 桜島

12月としては暖かい日差しの中、桜島へバスツアーに行きました。日本人21名と、7か国16名の外国人参加者の中には、桜島ビジターセンターの見学、桜岳陶芸での火山灰アート体験、黒神埋没鳥居見学などは初めての方も多く、新たな経験を楽しんでいました。身近な存在だからこそ意外と深くは知らないことの多い桜島の魅力を再発見するツアーになったとの声が多く聞かれました。



有村展望台



桜岳陶芸にて



黒神埋没鳥居

African & African Diaspora Heritage Celebration ～世界各国のアフリカ系文化紹介～

2月 6日(土)オープニングイベント

開催日 2月13日(土)映画「スパイダーマン:スパイダーバース」&文化的背景の解説
2月20日(土)映画「星の王子ニューヨークへ行く」&文化的背景の解説

場所 かがしま国際交流センター

3週連続で、「African & African Diaspora Heritage Celebration～世界各国のアフリカ系文化紹介～」を開催しました。

2月6日(土)のオープニングイベントでは、個性豊かな5名の外国人講師をお招きし、とても賑やかな雰囲気となりました。ケニア、ハイチ、ガイアナ、アメリカ合衆国についての母国紹介プレゼンテーションを行い、海外絵本の紹介では、ガイアナに100年以上前から伝わるストーリーを紹介。会場には、各国の雑貨や民族衣装、絵本が並べられました。また、それぞれの講師が母国の紹介したい人物を選び、作成した大きな6枚のポスターも展示されました。

2月13日(土)、20日(土)は、映画を切り口にアフリカ系の文化を理解することをテーマとして、2本の映画を上映しました。スティーブン・マチャリア氏とメリッサ・フィネウス氏による文化的背景の解説では、「主人公マイルズ・モラレスは『どんな人種でもヒーローになれる』という夢を与えた(スパイダーマン:スパイダーバース)」「アフリカ系の俳優が活躍できるきっかけとなった映画(星の王子ニューヨークへ行く)」などが語られました。

「African Diaspora=アフリカにルーツをもつ人々の文化は、世界の様々なところに息づいていると感じることができたイベントとなりました！」



茶道教室 / Tea Ceremony Class

開催日 11月21日(土)

場所 かがしま国際交流センター

在住外国人の方に「茶道」の実体験を通して、日本文化への理解を深めてもらうことを目的に茶道教室を実施しました。講師に仮重みゆき先生をお招きし、当日の掛け軸やお花の説明から始まり、ふくささばき、お点前まで体験しました。質疑応答の時間には、「日本ではどのような場面で茶道をするのか」「特別な道具をそろえる必要があるのか」等といった質問があり、「お茶はいつでもどこでも気楽に楽しめるものです」という先生のアドバイスに、参加者の方々は耳を傾けていました。



親子でわくわくクリスマス

開催日 12月5日(土)

場所 かがしま国際交流センター

感受性豊かな幼少期に異文化への理解を深めることを目的に「親子でわくわくクリスマス」を開催しました。当日は、11家族34名にご参加いただきました。

まずは、マレーシア出身のリリーさんに、母国の文化紹介やクリスマスの過ごし方をお話していただきました。多民族国家のマレーシアでは、クリスマスの過ごし方も様々で、子ども達はとても興味深そうにリリーさんのお話を聞いていました。次に、英語絵本「Fa La La」の読み聞かせや、クリスマスソングにのって英語の歌やダンスを楽しみました。

その後、元気なクリスマスソングを聞いて、なんとサンタさんが登場！！笑い上戸で陽気なサンタさんを前に子ども達は大喜びでした！まずは、サンタさんと簡単な英語ゲームを行い、アイスブレキング。そして、英語絵本「Jingle Jingle」の読み聞かせをしました。

後半のクリスマスカード作りでは、クレヨンを使ってカラフルに絵を書いたり、ふわふわの綿でサンタさんのお鬚をつったりと、一所懸命に工作をしてくれました。最後は、完成したクリスマスカードを持って、サンタさんと一緒にハイ、ポーズ！心温まる素敵なイベントになりました。



インターナショナルカレッジ(第2回) ~音楽で異文化体験~

開催日 1月17日(日) 場所 かがしま国際交流センター

鹿児島に居ながらにして外国の文化を体験し、異文化を理解してもらうことを目的とした「インターナショナルカレッジ」の第2回目を開催しました。

1限目はケニア出身のステーブン・マチャリア氏を講師に「ジャンベのリズム」、2限目はスペイン出身のフラン・ナバス氏を講師に「フラメンコの唄とリズム」の授業を行い、楽器の歴史や考え方、鹿児島との関わりなどを学んだり、実際にジャンベを叩いたり、フラメンコのリズムを刻む・歌うなどの体験することで異文化を感じていただきました。



参加者感想

ジャンベは叩く位置で音が変わり、強弱もつけられて面白い楽器だと思いました。実際に叩けて嬉しかった。フラメンコは赤いドレスを着て踊るものだと勝手に思い込んでいたため、唄が基本で、ギター(ジブシー)によって日常生活の一部で感情表現の一種であることなどを知り驚いた。

普段は日本人としか接することがないので、今回、音楽を通して人生観を見たり、文化の違いを感じ、もっとたくさんの方の方と接したいと思いました。

英語で学ぶ！ Australia Day

開催日 1月26日(火)

場所 かがしま国際交流センター

1月26日はオーストラリアデー(オーストラリア建国記念日)でした！真夏の1月のオーストラリアでは、各地で様々なイベントが開催されます。この特別な日に、オーストラリア出身で鹿児島市CIR(国際交流アドバイザー)のネイザン・タルボット氏による「英語で学ぶ！ Australia Day」を開催しました。今回はZoomを使ってオーストラリア現地との交流も行いました。現地のオーストラリアデーの雰囲気や、オーストラリアの新型コロナウイルス対策について、生の声を聞くことができ、参加者の方からは「海外旅行が好きで、今コロナでなかなか行けない中、オーストラリアの文化やオーストラリアデーについて知ることができ、とても楽しかった」という声をいただきました！



多様性を尊重したまちづくり

開催日 10月17日(土)、11月7日(土)、
12月26日(土)、1月16日(土)

場所 かがしま国際交流センター

NPO法人若者・留学生サポートステーション響との共催で、多様性を尊重したまちづくり(全4回)を実施しました。一般向けに加え、病院関係者、教育関係者、行政関係者といったあらゆる方面向けに異なるワークショップを実施し、「外国人住民にどのような配慮が必要か」を考えてもらうことが目的です。全4回で累計64人の方に参加いただきました。

毎回4~6名の外国人を講師としてお迎えし、教育関係者向けの回では、外国人講師が教師役になり、参加者が講師の母国語で我が子の悩みを伝えるといったワークショップを行いました。参加者の方々はGoogle翻訳を使ったり、ジェスチャーを交えて説明をしたりして、言葉の壁を乗り越えて要件を伝えることがどれほど大変かを実感した様子でした。また、講師の困難体験談では「病院で50枚程の紙をもらったが、全部読むのに2週間くらいかかった」「ハーフという言葉は不完全という意味なので使うのをやめてほしい」といった話があがりました。日本人としての立場からは気づきにくい視点が多くあり、参加者の方からは「自分がやれる最大のことをやっていきたい」「まずは声をかける」といった感想をいただきました。今回の取り組みが、外国人も含めた全ての人に住みやすい鹿児島になる一助となればと願っています！



災害時多言語支援ボランティア登録説明会

開催日 12月12日(土) **場所** かがしま国際交流センター

災害に直面したら言葉の壁を感じる外国人は日本人以上の苦境に陥る可能性が高いです。当財団では、そのような災害時の外国人を助けるため、「災害時多言語支援ボランティア」の登録制度を実施することになりました。

今回は、その制度の説明会と一緒に、災害時の外国人支援をテーマとした講演会を開き、講師として熊本市国際交流事業団の八木事務局長から2016年の熊本地震の際にどのような外国人支援が行われたかなどについてのお話を伺いました。

災害ボランティアとして登録してくださった方々には、大規模災害時に被災者の外国人へ通訳・翻訳などの役割を果たしていただくことになります。今後、研修や訓練などを通して、しっかりサポートしていきたいと思えます。



災害時の外国人対応セミナー～必要な人の手に必要な情報を届けるために～

開催日 12月20日(日) **場所** かがしま国際交流センター

災害時における在住外国人の避難行動を地域全体で支援する環境整備の一環として、外国人住民への確実な情報伝達を可能にするためのネットワーク作り・ルート作りを考えることを目的に、一般財団法人ダイバーシティ研究所代表理事の田村太郎氏を講師・ファシリテーターにお迎えし、オンラインでセミナーを行いました。

講話で「災害時の外国人支援のポイントと情報提供の際の留意点等」を学んだあと、グループワークを行い、「鹿児島に巨大台風が襲来し、48時間後までに全ての市民が安全な場所に避難を完了する」ために外国人住民も確実に避難が完了できるよう、情報の「内容」「媒体」「届いたことの確認」などを考えました。

コロナの影響で講師が来鹿できず、ZOOMによる開催となりましたが、外国人住民や行政関係者などの参加者54名の皆さんには、多文化共生社会の一員として自分達でできる情報伝達行動や今後やれることなどを考える機会にさせていただきました。



参加者感想

*自分が関わっている外国人コミュニティ以外のコミュニティについて情報交換ができたり、「情報提供」という一方向の見方だけではなくそこに求められる安心感だったり本当に求められているものを外国人の立場から考えたことで、違う視点を持つことができました。

「世界の台所」では世界各国の料理と文化の講座を全6回行いました。海外旅行が難しい中、調理室から世界へ旅立つ気分が味わえたとの声が、参加者の多くから聞かれました。それぞれのレシピについては、財団ホームページに掲載してあります。

1【日本】豆腐作り・豆腐料理4種

豆乳に“にがり”を加えて豆腐を作る経験はなかなかできないので、参加された外国人の方は興味津々でした。



2【南アフリカ】^{ボボティ}Bobotie

この料理は南・東南アジアから来た労働者の知恵と工夫によりできあがった料理と言われています。スパイスや果実系食材の使用が東南アジアの影響を感じさせます。



3【タイ】ガバオライス

ポイントは目玉焼き。たっぷりの油にゆっくりと卵を落とし、油をかけて、揚げ目玉焼きを作ります。



4【メキシコ】カルニタス(煮込み豚肉)のタコス

今回作っていただいたのは、皆がイメージするアメリカ経由のタコスではなく、メキシコ本来のタコスでした。



5【イタリア】鶏肉の白ワインソース煮

ポイントは鶏胸肉の前処理、味の決め手は美味しい白ワインです。鶏胸肉は薄く削ぎ切りにし、肉叩きで優しく伸ばすように広げること。この作業により驚くほど柔らかくしっとりでき上がります。



6【パキスタン】ひよこ豆と鶏肉のカレー(ハラール)

特徴は、小麦粉もココナッツミルクも使わないこと。カレーもチャパティも作り方が意外と簡単で、受講後に早速、香辛料を買いに行かれた方が多数おられました。



〈登録団体紹介〉

かごしま国際交流センターの登録団体を紹介します!

KFCC (鹿児島フィリピン文化サークル)

鹿児島県に住むフィリピン人が相互学習によって自国の文化を深く理解し、その成果を鹿児島県、全国に発信し、両国のさらなる友好関係の発展に寄与することを目的として、2019年10月13日に設立された新しいグループです。会員は、フィリピン人が中心ですが、日本人、フィリピン人以外の外国人の会員も在籍しています。

主な活動

- ・「ピスタン・フィリピノ(フィリピン祭り)」
- ・「ルートン・ピノイ(フィリピン料理教室)」
- ・「フィリピン野菜の収穫体験」等



▲KFCCクリスマスパーティー



▲フィリピン料理教室



▲フィリピン野菜の収穫体験

専任スタッフ

KFCC(鹿児島フィリピン文化サークル)会長の西村ジョアンです。KFCCの名前は、有名フライドチキンチェーンのアルファベット頭文字とビタミンCのCと覚えていただければ幸いです。お腹がいっぱいになって、しかも体にもいい、そんなイベントを企画していきたいと考えています。今、役員で計画しているイベントは、フィリピン野菜を使った料理講習会、子供と大人、みんなが楽しめるフィリピンの伝統的ゲーム体験会、鹿児島県のフィリピン人に関する講演会です。ぜひ、ご参加ください。お待ちしております!

連絡先

〒892-0871 鹿児島市吉野町2192番地22 西村ジョアン(会長) TEL:080-4273-8281 (渉外担当 Satoru NISHIMURA)
Email:satoru@leh.kagoshima-u.ac.jp (Satoru NISHIMURA) HP: <https://www.facebook.com/kagoshimafilipinocc/> (Facebook)

講座・イベント カレンダー

2021年 4月 ▶ 6月

申込方法

参加をご希望の方は、Eメール・FAX・郵送等で（電話でのお申込みはできません。）1. イベント名 2. 住所 3. 参加者全員の氏名（ふりがな）4. 電話番号 を書いてください。

4月 韓国文化理解教室

～マスクストラップでおしゃれに韓流 with コロナ～

- 内容: 韓国の伝統的な飾り結びのメドゥプ(叫咄)を使ったマスクストラップ作りを通しての文化講座
- 対象: どなたでも
- 日時: 4月18日(日) 14:00～16:00
- 場所: かごしま国際交流センター
- 参加料: 500円(市国際交流財団会員無料 ※当日入会可)
- 定員: 25名(超えたら抽選)
- 申込期限: 4月9日(金)

5月 YUKATA & IKEBANA

～Japanese Culture Experience～

- 内容: 浴衣の着付けと生け花の日本文化体験講座
- 対象: 市内在住の外国人
- 日時: ①5月9日(日)、②5月16日(日)、③5月22日(土) 全て10:30～12:30
- 場所: かごしま国際交流センター
- 参加料: 500円(市国際交流財団会員無料 ※当日入会可)
- 定員: 各回10名(超えたら抽選) ● 申込期限: 各回1週間前まで。①～③希望の回を書いてお申し込み下さい。

5月 国際交流探訪バスツアー

- 内容: 今年のツアー先は曾於市。溝ノ口洞穴などのパワースポットや大隅弥五郎太鼓、野菜収穫、お茶淹れ等の体験を楽しんでいただきながら、外国人と日本人同士で国際交流しましょう。
- 対象: 市内に通勤・通学する方と外国人
- 日時: 5月23日(日) 9:00～17:30
- 場所: 観光交流センター(上之園町1-1)集合
- 参加料: 2500円(財団会員・外国人・小学生以下は2000円)
- 定員: 60名(超えたら抽選) ● 申込期限: 5月13日(木)

6月 インターナショナルカレッジ

- 内容: 英語を使った講座を複数行います。
- 対象: 市内に住むか、通勤・通学している中学生以上の方・英検3級程度以上の方
- 日時: 6月19日(土) 10:00～12:40
- 場所: かごしま国際交流センター
- 参加料: 一般1000円 学生500円 (市国際交流財団会員無料 ※当日入会可)
- 定員: 50名(超えたら抽選) ● 申込期限: 6月12日(土)

かごしま国際交流センター1周年と ハーティーパーティー

かごしま国際交流センターが昨年(2020年)の4月にオープンしてほぼ一年、多くの方々にご利用いただき本当にありがとうございました。

本来は昨年(2020年)の5月に行う予定だった国際交流ハーティーパーティーを2月28日に国際交流センター全館を使ってようやく行うことができ、119名の方に参加していただきました。コロナ対策をした上で、例年と比べるとかなりの制約の中でしたが、このような交流イベントを行うこと自体に多くの感謝の声が寄せられました。



賛助会員募集! ～市民の皆さまによって支えられています～

鹿児島市国際交流財団は、多くの市民の皆さまによって支えられています。鹿児島市国際交流財団の活動に賛同してくださる賛助会員の皆さまを募集しています。

会員特典

- 各種イベントへの参加費の割引(個人会員のみ)
- 会報誌の送付や国際交流に関する情報の提供
- 財団ホームページでのバナー広告掲載(団体会員のみ)

年会費

- 個人会員(1口)1,000円 (家族会員及び10月以降加入の会員は500円)
- 団体会員(1口)10,000円から

入会資格

- 当財団の目的(国際交流等)に賛同し、後援する個人または団体

申込方法

当財団事務局で受け付けております。申請書はホームページでもダウンロードできますので、記入の上、郵送等によりお送りください。また、希望者には申込書を送付いたします。どうぞお気軽にお問い合わせください。

公益財団法人 鹿児島市国際交流財団

鹿児島市国際交流財団は、市民主体の幅広い国際交流活動を促進することにより、国際相互理解を深め国際協力意識の高揚を図るとともに、地域の多文化共生を推進し、国際都市鹿児島の発展に寄与することを目的としています。



国際交流の 推進

市民と外国人の親善・交流を深めよう!

国際理解の 推進

市民と在住外国人に
お互いのことをもっ
と知ってもらおう!

国際協力の 推進

市民による国際協力・
貢献活動を支援しま
す!

多文化共生の 地域づくりの推進

市民と在住外国人が
共に生きていく地域
づくりを支援します!

〒892-0846 鹿児島市加治屋町19番18号 TEL(099)226-5931
FAX(099)239-9258 E-mail:kokusai@kiex.jp HP:http://www.kiex.jp
[開館時間]9:00～21:00(日曜日及び祝日は9:00～17:00)
[休館日]月曜日(祝日と重なる場合はその翌平日)・年末年始(12月29日～1月3日)

リサイクル適正(紙へのリサイクル可)